

■ 当センターは、2002年3月20日にISO9001:2000の認証登録をいたしました。今まで同様、「真の顧客は道路利用者の国民であるとの立場に立ち、安全で快適な道路環境の整備に寄与する」ことを目指していきたくて思っております。

この技術情報誌「北の交差点」のチーフ・編集アドバイザーが交代しました。創刊から前号(10号)まで担当されました北海道工業大学笠原篤教授には長い間のご指導に深く感謝申し上げます。この号からは、北海道大学大学院加賀屋誠一教授に担当していただいております。今後とも、道路管理に携わる人々の共通の話題、北海道内外の道路全般にわたる技術動向、技術論文などを平易に紹介していきたくて思っています。

当センターのホームページを2002年4月1日に開設いたしました。

アドレスは <http://www.rmec.or.jp/info.htm> です。そこでは、「北の交差点」の誌面の一部を掲載しております。掲載している記事は、特集、インタビュー(9号以降)等です。バックナンバーのコンテンツも見ることができます。

なお、本誌では、アンケートを実施いたします。ご意見をお寄せ下さった方には、粗品を差し上げます。



(財)北海道道路管理技術センターのホームページ

編集後記 From Editorial Room

- 日本・韓国の大健闘で大いに盛り上がり、サッカーワールドカップ一色の1ヵ月間が過ぎました。その影響か?遅れていた北の交差点11号もやっと発刊となりました。今回は「北海道のITS」というテーマで特集を組みましたが、あらためて原稿を読んでいるとITSの可能性を再認識し、今後の発展が大いに期待されます。あと数年もすれば、道内の道路維持管理もITSで大きな変化を遂げているでしょうね!(M.M)
- 皮肉にも、昨今の財政難や公共事業の必要性の議論が発端か、行政も新たな道路の建設から既存ストックの有効利用に目を向け始めたかに思われる今日この頃。はたして、「投資的経費を減らして維持管理に金をまわすなど言語道断」、「途中の橋が壊れるまでその先の新しい道路づくりに邁進」などアングラ語録を、一時代前の暴論と葬りさられるか。日の目を見てきたとは言いがたい維持管理の、重要性が認識されるのではとかなかなか期待をいだきつつ、最後はやはり「バランス感覚が大切」となりま

しょうか。(N.W)

- ITSの全国レベルでの取り組みや北海道オリジナルの内容が読み取れたでしょうか。特に北海道のような広域分散型の社会では、情報の高度化は欠かせないもので、道路も情報インフラを付加したハード整備とそれを利用するいろいろなソフト整備の時代へ突入しました。ただ、便利になる反面、道路管理者のみでは対応できない過去のY2K問題のような総合的な危機管理体制などのあり方も気になるこの頃です。(F.T)
- 巻頭のホットニュースに掲載された「旭川紋別自動車道」供用前に、この区間を走る機会に恵まれました。現道峠部の厳しい線形に比べて、非常に走り易く、素晴らしい道路だという印象を強く感じました。供用後の利用者から好評を得ているのも十分納得できるようです。最近、道路整備の不要論があちこちからいわれていますが、まだまだ利用者から期待されている道路整備があるのではないのでしょうか。(N.S)

『北の交差点』とは…

古来、道が交わる場所では、人々の交流が生まれ、さまざまな文化が育ってきました。『北の交差点』というタイトルは、安全で快適な道路環境の創出を目指して、維持・管理に関係する「人」や「情報」が交流するところをイメージしています。

安全で快適な道路環境の創出を目指す技術情報誌

北の交差点® VOL.11

- 2002年7月発行
- 編集・発行/財団法人北海道道路管理技術センター
〒060-0807 札幌市北区北7条西2丁目20番地 東京建物札幌ビル6F
TEL 011-736-8577 FAX 011-736-8578
- 制作・印刷/株式会社須田製版